

【研究主題】

自ら進んで考え、判断して、よりよく生きようとする児童の育成
—「特別の教科 道徳」における主体的・対話的で深い学びを通して—

第3学年 道徳科学習指導案

日時 平成30年10月3日(水)第5校時

第3学年1組 36名

授業者 田中 智恵

1 主題名 正しいと思うことは自信をもって (A 善悪の判断、自律、自由と責任)

2 資料名 「二つの声」 (出典：東京書籍『新しいどうとく3』)

3 指導観

(1) 価値観

社会に生きる人間として、やっていいこととやってはいけないことをしっかり区別して判断する力は、児童が幼い時期に身に付けるべき力である。現実には正しいと思っても、人は様々な状況で損得を考えたり、周りの人の反応を気にしたりすることによって、行動が左右されてしまうということがよく起きる。価値観の多様な現代においては、主体的に生きるための基礎として、よいこと、正しいことについて、人に左右されることなく、自ら正しいと信じる場所に従って、誠実かつ謙虚に行動することは、人として重要なことである。迷いやためらいに負けず、自分の考えに自信をもって正しいことをしたり、正しくないことをやめたりしようとする心情を育てるために、だれもが二つの心をもっていて悩むことがあり、その中で悩みながらも、正しいことを自信をもって行うことの心地よさを感じさせたい。

(2) 児童観

児童は、集団生活に慣れてきて、物事に対して自分なりの判断ができるようになり、自分や他人の言動を見つめることができるようになってきている。周りの目を気にして、正しいことを行おうとする児童が多く見られ、友達がよくないことをしていると、注意する児童もいる。しかし、仲間意識が強くなり、やってはいけないとわかっているにもかかわらず、強い言動の児童に引っ張られたり、怒られたくないからごまかしたりしてしまったり、嫌われたくないから口裏を合わせてしまったりすることも増えてきている。

国語科や算数科では、テストで間違っている問題なのに丸がついていると正直に間違っていることを伝えに来たり、忘れ物をしたときにも正直に言いに来たりすることができる。友達によくないことをしたときにも、その行為を認めて謝る素直さも持っている。その反面、日常生活では、チョークを落として割ってしまったのに、そのまま何も言わなかったり、自分で落としたごはんを、自分はやってないと言ってそのまま放置したりする姿もよく見られる。そのときには、自分の損得で判断したり、うそをついてご

まかしたりすることはよくないことを学級全体に話し、指導を行ってきた。

人は、間違ってしまうこと、失敗してしまうことがあり、その時にどう行動したらよいか悩みながら、正しいことを自信をもって行おうとする気持ちを育てたい。

(3) 資料観

教室で花瓶を割ってしまった正二が、自分の失敗を正直に言うべきか、見て見ぬふりをして自分に意地悪をした友達に責任を負わせるのか、という二つの声に主人公が悩まされるという葛藤が描かれた教材である。

中心発問では、二つの声に悩まされ、はっきり言いたい悩んでいる正二の気持ちを考えさせ、ねらいにせまるようにする。そのために、第一発問では、ずるい気持ちを優先し、悪い声を聞き入れてしまった正二の気持ちを考えさせ、中心発問につなげる。この資料は、二つの声に悩まされた状態でお話が終わる。そこで、終末の活動ではそんな正二に手紙を書く活動を設定し、自分のこととして考え、正しいと判断したことは自信をもって行う気持ちをもたせたい。

この資料を通して、人はだれもがよい声と悪い声に悩まされることがあること、そして、悩んだときには、自分の損得や人の目に惑わされずに自分が正しいと思うことを信じてやることよさに気付かせたい。そして、自分の生活を振り返り、よいことと悪いことを見極め、自分の正しいと信じることに従って行動しようとする気持ちを深めていきたい。

4 ブロック分科会の取組

(1) 指導案作成において課題になったこと

- ・ねらいとする道徳的価値について

主題が「善悪の判断」ではあるが、「正直・誠実」になってしまう気がする。

→声1、声2の役割をしっかりと押さえることで善と悪の判断につながるのではないか。

- ・発問について

- ・研究主題にせまるための手だてについて

<問題場面への実践>は適切か。

→「正二にどんなことを言ってあげるかを問うことで、善悪の判断に迷う時に第三者の視点で判断できるようにする」と変更。

- ・板書について

一時間の流れがわかるような板書

(2) 指導案作成までの取組

8月13日 第1回学習指導案検討で、全体の流れについて話し合う。

8月27日 第2回学習指導案検討で、授業の展開について話し合う。

9月 3日 第3回学習指導案検討で、校長先生と授業の展開について話し合う。

9月13日 第4回学習指導案検討で、講師の土屋信行先生と授業の展開について話し合う。

9月27日 第5回学習指導案検討で、授業の展開、板書について研究主任とブロックで話し合う。

9月29日 第6回指導案検討で、校長先生と授業の導入・後段について話し合う。

5 研究主題に迫るための手だて

	主体的な学びに導くために (他人事ではなく、自分自身 のこととして考えるために)	対話的な学びに導くために (友達のかえから共通点や 相違点を発見するために)	深い学びに導くために (自分のかえをより深めたり、 改めたりするために)
発問の工夫			<問題場面の実践> 手紙を書く際に、自分が同 じような経験があれば、そ のことも手紙に書くとよい ことを伝えることで、自分 の生活と関連付けて考えら れるようにする。
学習形態の 工夫	<問題場面への実践> 二つの声に悩まされる正二に どんなことを言ってあげるか 手紙を書くことで、正しいと 思うことを信じて行うことが できるようにする。	<他者との意見交換> 正二の悩む気持ちを発表し 合うことで、様々な考え方 があることに気付けるよう にする。	
児童の意識 把握のため の工夫	<事前のアンケート調査> 導入部で、ねらいとする道徳 的価値に関する内容のアン ケートを紹介し、児童自身が 抱えている問題点に気付かせ るとともに、本時のねらいを 意識づける。		
評価のため の工夫			<ワークシート> 悩んでいる正二に手紙を書 くことで、正しいことを自 信をもって行う気持ちがも てたかを評価する。

6 本時の過程

(1) 本時のねらい

二つの心の声に悩む正二の気持ちを考えることを通して、自らが正しいと信じるところに従って、行動しようとする心情を育てる。

(2) 展開

過程		学習活動 (○発問 ◎中心発問・予想される児童の反応)	◇指導上の留意点 ◆評価 (方法)
導入	5分	<p>1 正しいと知っていながらできなかった経験を発表する。</p> <p>○生活の中で正しいとわかっていながらできなかったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームでかかって遊んではいけなかったけれど、遊んでしまった。 ・正直に見せなければいけなかったのに、テストをかくしてしまった。 	<p>◇アンケートをもとに実態を知る。正しいと思ったことを自信をもって言えたかということに注目させる。</p> <p>◇日常生活の中の小さな出来事を発表することにとどめて、あまり深入りしない。</p>
展開	前段 15分	<p>2 「二つの声」を読んで話し合う。</p> <p>(1) 第一場について話し合う。</p> <p>○花びんをわってしまったとき、正二はどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生に怒られる、どうしよう。 ・だまっていれば、だれにもわからない。 ・もとにもどせるかな。元の形に戻ってよかった。 <p>(2) 第二場について話し合う。</p> <p>◎二つの声を聞いて、頭を抱え込んだ正二は、どんな気持ちだったでしょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言わなければいけない。でも、自信がない。 ・自分に自信をもって言わなくちゃ! 	<p>◇「声1」「声2」は、両方とも正二の声であり、よい心の声と悪い心の声であることを確認する</p> <p>◇第一場では、ずるい気持ちが優先し、声2の悪い声を聞きいれてしまったことをおさえる。</p>
	後段 20分	<p>3 悩んでいる正二に対して、手紙を書く。</p> <p>○自分だったら頭を抱えている正二にどんなことを言ってあげますか。手紙を書いてあげましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正直に言わないと、ずっともやもやするよ。 ・正しいことは何かを考えた方がいいよ! ・よくないことをしたときは、本当のことを言って謝ったら、気持ちがすっきりするよ。 	<p>◇自分にもどうしたらよいか迷うようなことを経験したことがある児童は、そのことも伝えてあげるように声をかける。</p> <p>◆自分の生活を振り返って、正しいと判断したことは、自信をもって行う気持ちがもてたか (ワークシート・発言)</p>

終末	5分	<p>4 正二への手紙を伝え合う。 自分の生活を振り返って考える。 C：正直に言わないとずっともやもやするよ。 →T：もやもやした経験がある人はいますか？ T：それはどんな時？（その経験を聞く） C：よくないことをしたときは、本当のことを言うと気持ちがすっきりするよ。 →T：正直に言うですっきりするんだね。そういう経験のある人はいますか？ T：それはどんな時？（その経験を聞く。）</p>	<p>◇自分の判断に自信をもって行動すると心地よい気持ちになることをおさえる。</p>
	5分	<p>5 教師の説話を聞く。</p>	<p>◇二つの心の声に悩んだ末に、正しいと思ったことを行った経験とその時の気持ちを伝える。</p>

板書計画

二つの声

声1
良い声

声2
わるい声

言わなければいけない！
光夫君がかawaiiそう。
わるいことをしたから、
ちゃんといわなくちゃ。

どうしよう

先生におこられる。
光夫もわるい。
だまっていれば
ばれない。

正二くんへ
正直に言わないとずっともやもやするよ。
本当のことを言ってあやまるとすっきりするよ。

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.

